



文通
アナタと文理科をつなぐ

れいめい文理科通信
2022 / JUL
AUG

学びは「楽しい」

楽しくないと頑張れない

青春は永遠じゃない



一日体験入学開催 7/30(土)部活体験 7/31(日) 学科体験
8/7(日)

文理科の体験授業は 7/31(日)、8/7(日)

英文の読み方のコツは？
世界の環境問題を科学で考える！？
きれいなポスターを作るには？
人前でうまく話すには？



英語と理科で世界の環境問題を考えて

英語力とコミュ力の伸ばし方がわかる時間！

お申込みは本校ホームページから！



ワレワレも語りたい

—れいめい教職員コラム—

教職員達が、毎号交替で書いていくリレーコラム。内容は、勉強のことから趣味のことまで様々である。

私は前々から密かに抱いていた考え(教師になる)を実行することにした。そうするにあたって、塾講師の経験くらいしかない私が、まず思ったことは「教育のことは何も知らないから大学院に行って学ぼう」ということだった。大学院に合格するために私はその日から会社を5時きっかりに退社し、母校の大学の図書館で5時間勉強するという日々を続けた。その甲斐あって、無事に合格することができた。

大学院での学びは素晴らしかった。今でも血となり、肉となり、私の中に息づいている。また、学友にも恵まれ、同期の学生たちは10年以上年長の私に忌憚なく接してくれた。ありがたいことである。日本の各地で教師をしている彼ら彼女らと、今でもSNSで連絡を取り合い、たまには一堂に会して語り合うこともある。

夢を叶えて教師になってみて、実際にしていることは日々勉強である。そして、これは教師という職業だけでなく、他のどんな職業も一緒である。

書き下し文・故きを温ねて新しきを知る、以て師と為るべし。意識・古い事や学説を研究して、全く新しいことを発想できるようにすれば、それは先生とすることもできよう。

「学而時習之、不亦説乎。有朋自遠方来、不亦楽乎。」
書き下し文：学んで時に之を習ふ、亦説ばしからずや。明有り遠方より来たる、亦楽しからずや。

意識：学んで時に応じて(みんなでわいわい集まって)復習するのは、嬉しいことではないか。友が遠方からやってくることは嬉しいことではないか。

『論語』におさめられた孔子の言葉である。諸君も高校生になればこれを学習することであろう。

これは自慢でもなんでもないが、私は某大手企業出身であり、そこで社員表彰に選出されたことがある。その年、私は当然、ボーナスはA評価(すぐれている)、だと思っていた。しかし、忘れもしない某年12月1日、振り込まれた額を見て、私はC評価(普通)だと知った。

私は激怒した。すぐにこんな会社辞めてやる、と思った。そして、実際にその年度限りで辞めた。表彰のときにいただいたトロフィーや賞状は多分、引越しのときに捨てた記憶がある。だから、これは冒頭に述べたとおり、自慢でもなんでもない。

「温故而知新、
可以為師矣。」



文理科3年担任
副田 拓志

教科：国語
座右の銘：特になし
(みんないつ決めるんでしょう。不思議だなあ。)
趣味：寺巡り

文理科通信「文通」は、高校進学を目指す中学生の皆さんに、現役大学生や高校生の姿をお知らせする広報紙です。バックナンバーはホームページから▼

れいめい高等学校 TEL:0996-23-3178 <https://reimei.ed.jp> 

自分を考える

鹿児島大学に進学した板垣さんと右田さんを取材しました。訪ねたのは、一人暮らしをしている板垣さんのお部屋。同じ大学に進学した二人、ゆるりとした友人関係を続けているそうです。



鹿児島大学 水産学部 右田 雅人さん (高尾野中出身)
鹿児島大学 工学部 板垣 潤平さん (川内北中出身)

板)ほとんど共通科目ですが、専門の授業はレポートが忙しいです。工学部は他の学部より忙しいようです。ただ、やりがいがあります。私生活では、コンビニでアルバイトを始めました。お金をためて、ちょっといい自転車を買うつもりです。

右)水産学部は、まだ余裕があります。課題をオンラインで提出することも多く、空いた時間にまとめてやっています。二年生になれば乗船実習があつて、生態調査をするので楽しみにしています。アルバイトは、家庭教師を始めました。主に理数系の科目を教えています。

サークルや趣味の時間は何を？

板)一緒にバドミントンのサークルに入りました。趣味は、基本的にゲームをすることが多いです。一人暮らしなのでプレイ時間は増えましたが、一応家事はちゃんとしています。(笑)

右)僕は、市内の祖母の家から通学しています。ここ(板垣さんの家)に遊びに来るときは、どちらかがゲームをしている横で、一方はレポートを書いているみたいな、ゆるい過ごし方をしています。

ゲームが好きなんですね受験勉強に影響はなかったんですか？

板)僕は、好きなことを我慢すると、調子が悪くなるので、受験前も適度にやりました。ただ、何時間もするわけじゃないです。勉強して、寝る前に30分やったらすぐ寝るとい感じ、でバランスを保っていました。

◀時おり集まって、自由な時間を過ごす。



お土産には本校食堂のからあげを用意した。寮生だった右田さんは毎日のように食べた思い出の味である。▶



それぞれ後輩へのアドバイスをお願いします。

板)やっぱり自分に合わせた方法やペースを考えながら頑張るのがいいと思います。僕は、適度にストレスを緩和しながら勉強したので、健康的に受験に臨めたし、もともと得意だった理数科目に特に力を入れて得点を伸ばしました。

右)自分で勉強に集中することに自信がない人もいます。自分を弱さも考えて、環境を作るのも必要なことです。僕は、熱心に勉強するクラスメイトがすごく刺激になっていました。時には教えてもらっていましたし、僕たちの仲間内では、彼の存在がすごく大きかったです。人の助けを借りるのも大切ですね。



大学生活はどうですか？

「由布センパイと富永センパイの英語研究」

ユフ青年

くわはたカメラマン



今回取材したのは、由布先輩(僕の姉)と富永先輩。由布先輩の研究テーマは「英語をネイティブのように話すにはどのような性質が必要か」富永先輩は「乳幼児における多言語教育の利点と弊害」です。ともに、英語教育を題材としているが研究内容は全然違います。今号はそんな二人の研究への思いを知るべくインタビューしました。

由布先輩はもともと英語が好きだったそうですが、研究後、英語の学習になにか変化がありましたか？

由)興味をもつことが一番大切ってわかったので、学習の仕方にも変化がありました。例えば、洋画を吹き替え番を流しながら字幕を英語にして、自分が楽しみながら学んでいます。

富永先輩は、由布先輩とは違った時期の英語学習について研究されてましたね。

富)はい、今の自分、中高生などの時期に行く英語学習ではなく、幼児期からの英語学習についてでした。その中で、場面や教育者によって、扱う言語を区別していることが(異言語間の混乱が少なくなり)外国語の習得には大切だということがわかりました。

校内に掲示してある研究ポスター



富)保育士の方にインタビューを行った時のことです。両親、もしくはどちらかが外国人である幼児の日本語の習得状況を調査しました。

由)私も、インタビューの時です。文科省の方やADU(立命館アジア太平洋大学)の学生さんに英語の上達についてお話を聞きました。

富永先輩は教育系の大学に進学されると思います。実践されてる学習のポイントを教えてください。

富)まずは、授業内容を定着させることだと思います。あとは、小学生のころから、漢字や言葉の意味を調べるのが好きで、気になった言葉はすぐに調べていました。そういったことも今の勉強に役立っているのかなって思います。

由布先輩は大学進学後の留学を考えているんですか？

由)もちろんやりたいなと思っています。ただ、コロナの影響もあって今後どうなるかはわからないんですが、オンライン留学なども視野に入れて、チャレンジしたいと思っています。

このコーナーは文理科に通う「ユフ青年」が、放課後に中高生の研究や青春を取材して、見聞を広めるとも志の高いコーナーなのである。「ゆふかけ」とは夕暮れ時の光を意味する古語である。

テーマ設定の理由を教えてください。

由)小学校のころから英会話教室に通って、やっぱり一番興味のある英語の研究をしようと思いました。

やっぱり英語を扱う仕事に就きたくて頑張ってるんですか？

由)それもあります。英語を学ぶと、コミュニケーションをとれる人が増えます。だから、多くの人とコミュニケーションをとれるようになるために英語を学んでいると言ったほうが正しいかなと思います。

研究のなかでは、こういったことが印象深いですか？

富)保育士の方にインタビューを行った時のことです。両親、もしくはどちらかが外国人である幼児の日本語の習得状況を調査しました。

二人とも自分の道、好きなことに真剣に向き合って研究されていることがわかりました。それぞれの研究が夢につながっているのです。これから、大学に進学して先輩たちの研究がさらに進化していくのが楽しみです。

二人からは、基礎的な学習を頑張っていれば、それが3年生になって活かせるというアドバイスもいただきました。